TACO INCIPELLE

第64回 税理士試験

本試験問題

〔第二問〕問2

【資料 6】 X2年度の株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

		自X2年	4月1	日 至	X3年 3	月31日			(単位	:千円)
		株	主管	本				評価・換 算差額等		
資本剩余金			利益剩余金						新株	秘資産
i k		資本剩余 全合計	利益事備金	その他 利益利余全 繰越利益 和今今	利益剰余 金合計	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	子約権	合計

	資本金	資本 準備金	その他資 本剰余金	資本剩余 金合計	利益 準備金	利益剩余金 繰越利益 剩余金	利益剰余 金合計	自己株式	合計	価証券評 価差額金	7.451E	пп
当期首 残高	4,000,000	600,000	200,000	800,000	380,000	460,000	840,000		5,640,000	2,100	40,000	5,682,100
当期 変動額												
新株の 発行												
利余金の 配当												
当期 純利益												
自己株式 の取得												
()												
株主資本 以外の項 目の当期												
変動額 (純額)												
当期変動 額合計									(5)			

TAC予想問題

●実力完成答練 第6回〔第二問〕問2

	株 主 資 本									評価換算 差額等			
	資本金	資本剩余金		利益剩余金						その他有	新株	純資産	
		資本 準備金	その他資本 剩余金	資本 剩余金合計	利益率 備金		益馴余金 ุ 報題利益 剩余金		自己 株式		てい担相 価証券評 価差額全	予約権	合計
当 期 首 残 高	100,000	10,000	2,000			2,000	25,000	42,000	△4,000			600	
当 期 変 動 額													
剰余金の配当					0								
積立金の取崩													
当期純利益													
自己株式の取得													
自己株式の処分			2										
自己株式の処													
分と新株の発 行による増減													
株主資本以外の当 間変動額(純額)	3)										4		
当期変動額合計									(3)				6
当期末残高												7	

1 次の文は、「企業会計原則」及び「企業会計原則注解」の一部 を抜粋したものである。空欄 イ から ホ に当てはまる 適切な語句を答案用紙に記入しなさい。

「企業会計原則」第三の一のD

「将来の期間に影響する特定の費用」とは、すでに代価の支払 が ロ し又は支払義務が ハ し、これに対応する 三 を受けたにもかかわらず、その ホ が将来にわたって発現す

本試験問題

「第一問〕1

将来の期間に影響する特定の費用は次期以後の期間に イ て処理するため、経過的に貸借対照表の資産の部に記載するこ とができる。

「企業会計原則注解」(注15)

るものと期待される費用をいう。

●実力完成答練 第4回〔第一問〕1

将来の期間に影響する特定の費用は、次期以後の期間に配分し て処理するため、経過的に貸借対照表の資産の部に記載すること

本試験問題

〔第一問〕D1

(1) 次の[事実関係]及び[和解内容]を前提として、株式会社A (年1回3月末決算。以下「A社」という。) が、本件「示談金」 につき、当期(平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事 業年度をいう。) において行うべき税務処理を仕訳で示すととも に、なぜそのような税務処理を行うのが妥当か理由を付して簡潔 に説明しなさい。

- ① A社は、甲の所有する土地の上に建物を所有していたが、A 社と甲の間では、当該土地の占有権限を巡って従来から争いが
- ② A社は、正当な賃貸借契約に基づいて、当該土地を使用して いる旨を主張する一方、甲は、A社の当該土地の占有は不法な ものである旨を主張していたが、平成26年6月1日、次の内容 の和解がA社と甲との問で成立した。

- ① A社は、当該土地につき、平成45年5月31日を明け渡し期限 として、甲に明け渡すこととし、当該明け渡し期限までは、従 来どおりの条件によって使用が認められる。
- ② A社は「示談金」名目で、総額48,000,000円を甲社に支払う 旨に合意する。支払方法は、平成26年6月30日を第1回目とし、 以後20年間(毎月月末に200,000円)の分割払いとする。
- ③ A社が「示談金」の毎月の支払いを2回以上遅延した場合に は期限の利益を失い、残額を一括で支払うとともに、即時に当 該建物を徽去して、甲に当該土地を明け渡すものとする。
- ④ A社が明け渡し期限前に当該建物を撤去し、当該土地を甲に 明け渡した場合には、その明け渡し時点における「示談金」の 未払い残金は、遅延分を除き免除される。

TAC予想問題

次の文章は、「企業会計原則」、「企業会計原則注解」、「研究開発 資等に係る会計基準」及び「繰延資産の会計処理に関する当面の取 扱い」から一部抜粋したものである。これに関連して以下の各問に

「企業会計原則」貸借対照表原則一D

「企業会計原則注解」【注15】

「将来の期間に影響する特定の費用」とは既に ① が完了し又は ② が確定し、これに対応する ③ を受けたにもかかわらず、その ④ が将来にわたって発現するものと期 待される費用をいう。(以下省略)

TAC予想問題

●直前対策テキスト理論編 P128

X社は、商品の販売を行う株式会社である。X社は、Y社の有 する土地を不法に占有しており、当該土地の明け渡しを求める訴 訟において和解した。X社は、本件土地についての占有権がない ことを認め、当該土地上に建てられている建物について、平成26 年1月31日から20年を経過する日までに撤去するとともに、当核 土地の明け渡しを完了することを約束した。あわせて、Y社に対 して、60,000,000円の示談金を当期の1月31日より毎月末に250,000 円ずつ、240回に分割して支払う旨の約束をした。

なお、X社が、示談金の支払いを2回以上遅延した場合には、 Y社に対して残額を一時に支払うとともに、即時に本件建物を撤 去して、本件土地を明け渡すことを条件としている。

また、X社は、土地の明け渡しの期限が到来する前に任意に本 件建物を撤去し、土地を明け渡したときは、その時における示談 金の残額を免除することが定められている。

以上の事実にもとづき、X社の支出する示談金の課税関係につ き、根拠となる法令を示しつつ、理由を付して簡潔に説明しなさ

本試験問題

〔第二問〕問2 【資料I】

乙は、30年間務めていた会社(以下「A社」という。)を本年6

本年分(6月末まで)の給与収入金額は4,800,000円である。この 給与収入にかかる源泉徴収税額は、442,050円であるが、適正に源 泉徴収されている。また、会社から付与された新株引受権があった が、退職時の6月に発行会社であるA社に3,200,000円で譲渡した。 この新株引受権は非適格ストックオプションに該当する。

TAC予想問題

●実力完成答練 第3回〔第二問〕

乙は、本年6月にT社から新株2,000株を1株当たり500円で取 得する権利(租税特別措置法第29条の2に掲げる新株予約権には 該当しない。)を与えられていたが、この権利を行使せず本年8 月にT社に対し1,500,000円で譲渡している。

なお、この権利は、株主等として与えられたものではない。

本試験問題

間2 次の設例に基づき、以下の(1)及び(2)の間に答えなさい。

Z (50歳) は、平成26年中に配偶者Yから、Zが専ら居住の用に 供している土地及びその土地の上に存する家屋(相続税法の施行地 内にある。) の贈与を受けた。

Zは、その贈与を受けた財産に係る贈与税の申告において、贈与 税の配偶者控除(相続税法第21条の6)の適用を受けようと考えて

なお、Zは、これまで贈与税の配偶者控除の適用を受けたことは ない。

(1) 贈与税の配偶者控除について、その概要と適用要件について説 明しなさい。

(2) 配偶者 Y が平成26年中に死亡した場合における、課税上の取扱 いについて説明しなさい。なお、Zは、配偶者Yの死亡に係る相 続税の申告書の提出義務を有する者であるものとする。

TAC予想問題

●実力完成答練 第2回〔第一問〕

問1 相続税及び贈与税の計算に当たっては、配偶者間における相 続、遺贈又は贈与による財産の移転について各種措置が設けら れているが、その措置の内容及び適用要件を説明しなさい。だ し、課税価格計算に係る措置については説明を要しない。

本試験問題

「第一問〕問1

(2) 「課税仕入れ」の意義、仕入税額控除制度の趣旨及び仕入控除 税額の計算方法(簡易課税制度を適用した場合を除く。) について、 簡潔に述べなさい。

注 1 消費税法施行令に定める事項については、触れる必要はな

2 (2)の解答に当たっては、適宜算式等を用いることとして差 し支えない。

TAC予想問題

●全国公開模試〔第一問〕

問1 消費税法第30条第2項第1号に規定する個別対応方式の適用 にあたり、控除できる課税仕入れ等の税額の合計額は、課税資 産の譲渡等を行うために要する課税仕入れ等に係る部分の消費 税額に限定される。

これを踏まえ、次の各問に答えなさい。

(1) 「課税仕入れ」の意義について述べなさい。

TACの教材・答練が本試験で、





ではいいのでは、

			的由!
科目	本試験問題		TAC予想問題
	(笠 問) 問 1	_	実力完成答練 第2回〔第一問〕
	〔第一問〕問 1 	→	全国公開模試〔第一問〕問1
	〔第一問〕問2	→	実力完成答練 第6回〔第一問〕
	〔第二問〕問1	→	実力完成答練 第4回〔第二問〕問3
			実力完成答練 第6回〔第二問〕問2
			実力完成答練 第2回〔第二問〕問1
	〔第二問〕問1	→	実力完成答練 第5回〔第二問〕設問3
			実力完成答練 第3回〔第二問〕問2-1
**			実力完成答練 第6回〔第二問〕問2
簿記			全国公開模試〔第三問〕
論			実力完成答練 第6回〔第一問〕問2
			実力完成答練 第5回〔第二問〕設問2
			直前予想答練 第2回〔第一問〕③
	(** BB)		実力完成答練 第4回〔第三問〕
	〔第三問〕	-	直前予想答練 第2回〔第二問〕4
			実力完成答練 第3回〔第三問〕
			実力完成答練 第5回〔第三問〕 直前予想答練 第3回〔第三問〕
			実力完成答練 第1回〔第三問〕
			直前予想答練 第3回〔第一問〕
	 第一問〕 1	→	実力完成答練 第4回〔第一問〕1
	〔第一問〕2	→	実力完成答練 第4回〔第一問〕 3(1)
	〔第一問〕 4	→	直前予想答練 第3回〔第二問〕3(1)
FI-#	〔第二問〕 3	→	実力完成答練 第5回〔第二問〕3
務	〔第三問〕問1問題文	→	全国公開模試〔第三問〕問1問題文
財務諸表論	〔第三問〕 3	→	実力完成答練 第5回〔第三問〕 4
論	〔第三問〕 6	→	実力完成答練 第3回〔第三問〕7(2)
	〔第三問〕 9	→	全国公開模試〔第三問〕7
	〔第三問〕14	→	実力完成答練 第2回〔第三問〕12
	〔第三問〕15	→	直前予想答練 第3回〔第三問〕11
			直前対策テキスト理論編 P44 P128
法	[第一問]	→	理論ドクター 基礎力養成 P200
法人税法			直前予想答練 第2回〔第一問〕問2
法	(## BB)		実力完成答練 第2回〔第二問〕A4
	〔第二問〕 	→	実力完成答練 第3回〔第二問〕A11
			直前予想答練 第3回〔第二問〕A6
	 〔第一問〕問 1	→	直前対策講義 第2回 実力完成答練 第1回〔第一問〕問2
	(第一问) 问 	7	実力完成答練 第1回[第一問]問2 直前予想答練 第2回[第一問]問2
			実力完成答練 第3回〔第一問〕問1
	〔第一問〕問2	→	実力完成各種 第6回〔第一問〕問1
所			実力完成答練 第3回〔第二問〕
所得税法			直前予想答練 第2回〔第二問〕
法			全国公開模試〔第二問〕
	(44 - 55)		直前予想答練 第3回〔第二問〕
	〔第二問〕 	→	実力完成答練 第1回〔第二問〕
			実力完成答練 第2回〔第二問〕
			実力完成答練 第4回〔第二問〕
			直前予想答練 第1回〔第二問〕
	〔第一問〕問1	→	実力完成答練 第3回〔第一問〕2
		→	直前対策補助問題 第7回
相	〔第一問〕問2	→	実力完成答練 第2回〔第一問〕問1
相続税法			実力完成答練 第5回〔第二問〕
悦法			実力完成答練 第6回〔第二問〕
	[第二問]	→	実力完成答練 第4回〔第二問〕
			実力完成答練 第2回〔第二問〕
			直前予想答練 第2回〔第二問〕

科目	本試験問題]	TAC予想問題
	〔第一問〕	→	全国公開模試〔第一問〕問1
	〔第二問〕	1	
	〔資料〕4. A	→	 実力完成答練 第 1 回〔第二問〕 E
	〔資料〕4. B	→	全国公開模試〔第二問〕 A
	〔資料〕4. C	→	実力完成答練 第4回〔第二問〕B
	22 E 1.12	→	全国公開模試〔第二問〕 D
	** * * * * *	1	
	〔資料〕4. E	→	実力完成答練 第1回〔第二問〕C
流	〔資料〕4. F	→	実力完成答練 第2回〔第二問〕D
酒税法	〔資料〕4. G	→	実力完成答練 第1回〔第二問〕F
法	〔資料〕4. H	→	実力完成答練 第1回〔第二問〕D
	〔資料〕6.	→	実力完成答練 第4回〔第二問〕〔資料〕9
	〔資料〕7.	→	実力完成答練 第3回〔第三問〕〔資料〕2(5
	〔資料〕8.	→	実力完成答練 第3回〔第三問〕〔資料〕2(2
	〔資料〕9.	→	実力完成答練 第4回〔第二問〕〔資料〕5
	〔資料〕10.	→	実力完成答練 第1回〔第二問〕〔資料〕6
	〔資料〕11.	→	実力完成答練 第3回〔第三問〕〔資料〕2(4
	〔資料〕12.	→	実力完成答練 第3回〔第三問〕〔資料〕2(1
	〔資料〕13.	→	直前予想答練 第1回〔第三問〕〔資料〕3(1
			全国公開模試〔第一問〕問1
	〔第一問〕問1	→	直前予想答練 第1回〔第一問〕問1
	〔第一問〕問2	→	実力完成答練 第3回〔第一問〕問3
	(%) 161) 1612	7	直前対策講義 第3回〔第二問〕
沿			合格情報〔第二問〕
消費税			
税	〔第二問〕問1	⇒	実力完成答練 第1回〔第二問〕
法			直前予想答練 第1回〔第二問〕問1
			全国公開模試〔第二問〕
		-	直前対策テキスト
	〔第二問〕問2	⇒	実力完成答練 第4回〔第二問〕
	()() — (-) (-) (-)	,	直前予想答練 第2回〔第二問〕
	 〔第一問〕問 1	→	理論マスター 2-2
	(Star lea) lea i	,	実力完成答練 第3回〔第一問〕1
固	[第一問〕問2	→	直前予想答練 第2回〔第一問〕1
定	(%) IPI) IPI Z	~	直前対策テキスト P.36
固定資産税			実力完成答練 第1回〔第二問〕2
税	〔第二問〕問1	⇒	実力完成答練 第3回〔第二問〕1
			全国公開模試〔第二問〕2
	〔第二問〕問2	→	実力完成答練 第2回〔第二問〕2
	〔第一問〕問1	→	実力完成答練 第2回〔第一問〕(設問2)
	〔第一問〕問2	→	実力完成答練 第3回[第一問](設問2)
事	〔第二問〕	→	直前予想答練 第1回〔第一問〕問2
事業税	〔第三問〕問1	→	実力完成答練 第2回〔第二問〕
怳	〔第三問〕問1	→	実力完成各様 第2回〔第三問〕
	〔第三問〕問1	1	全国公開模試〔第二問〕問1
		→	
	〔第一問〕問1	→	合格情報 B − 4
	〔第一問〕問2	→	合格情報
			直前予想答練 第1回
/>			直前予想答練 第2回
住民税			実力完成答練 第1回
税	[〔第二問〕		実力完成答練 第2回
	(w—III)	→	実力完成答練 第4回
			直前対策講義 第1回
			直前対策講義 第2回
			直前対策講義 第3回
围	(44. 85) 55	1	実力完成答練 第3回〔第一問〕
国税徴収法	〔第一問〕問2	→	
徴		1	直前対策講義補助問題 第3回〔第二問〕
法	〔第二問〕	→	実力完成答練 第1回〔第一問〕
,			大刀元以合体 カー凹(先一門)

厳選された良問こそが合格への最短ルート